

館報 はた



令和4年7月1日現在

世帯数	6,334戸
人口	15,480人
男	7,511人
女	7,969人

おいしいお米に育って



波田小学校5年生 田植えをしました

5月17日、波田小学校5年生が、田植えの体験学習を行いました。薄曇りの少し肌寒い朝でしたが、子どもたちは元気いっぱい。初めて田植えを体験する子が多いよう、わくわくとした笑顔でした。

見ていた先生方からは、「みんなうまくなってきたな」「早くなってきたね」と声がかけられ、子どもたちも笑顔いっぱい。田んぼの半分ほどまで植えて終了となりました。

コロナウィルスの感染状況を見て収穫祭も考えているそうです。秋が楽しみです。



田植えの手順や注意を真剣な表情で聞いていた子どもたちです。さあ開始!

「後ろを見ながら」「ほら見て、うまくできてるよ!」「ほんとだ!」

すべる～

きゃ～! 足が動かない!

足がぬけない!! (隣の子が足をひっぱってくれていました)

めっちゃくちゃ楽しい!

慣れてきた

気持ちいいな(泥が)

波田小学校の稲作学習のために田んぼを提供してくださっている太田貞子さん。20年前、学校の近くで田んぼを貸してくれる人はいないかと探していることを知り、お父様が子どもたちのために始められたそうです。10年前引き継いだときから、JA青年部の方々と一緒に、米作りの大変さや大切さなどを知ってほしいとの思いで子どもたちが喜んでくれるようにと、毎年ご指導くださっています。

太田貞子さんよりコメント

.....

手で田植えをする経験は、今は家が農家でもなかなか体験できないこと。実際に手で触れて体を動かして田で学んだ経験は大きいです。田植えは米作りの第一歩。今日ドキドキしながら植えた苗がどうなっていくか時々見に来てほしいです。お家での話題にもなるといいなあ。

波田地区内の農業遺産

波田堰は、明治10年(1877年)ころに完成した水田に水を運ぶ全長9kmの灌漑用の人工河川です。上高地を水源とする梓川の水を取水し、波田地区の扇状地に広がる280haほどの水田を潤しています。



堰とは、一般に水をせき止めて用水を取り入れる目的で河川や湖沼に設けられる構造物や、水路の水位・流量を調節するために造った構造物のことです。また、そこから取り入れた用水を流すために人工的に造った水路のこともいい、この場合には「せぎ」と読みます。松本平では、川の

梓川右岸幹線、和田堰、新村堰は梓川と同じ高さの河岸段丘の最下段にあり、波田堰は3段目の河岸段丘を掘り通す高さに造られ、黒川堰は、山の中を通り、最上段の上波田寺山地区で山麓に出て、さらに山麓を回り込むように造られています。

これらの用水路は、先人の諸先輩方が心血を注ぎ開削をされ、この広大な松本平の大地に梓川の水を配水したいという強い願いから整備された施設で、今日まで受け継がれてきました。今後もこの大切な施設を未来永劫、子孫に受け継いでいくため地域の方々には、ゴミなど水路に投棄せず、いつまでも大切にしたいものです。



私たちを見守る乗鞍岳



松本平では、色々な場所から北アルプスや美ヶ原など、四方に美しい山々を眺めることができます。波田に暮らして西の山に目をやると、景色の奥に小さく見えるのが乗鞍岳。真冬の凜と真白な姿、春を知らせるまだら模様姿など、四季折々に私たちを楽しませてくれています。

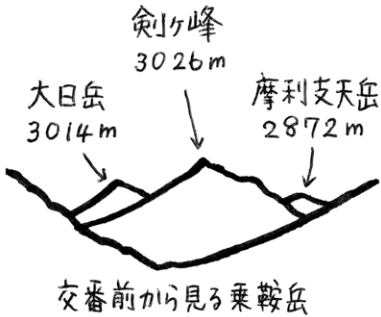
平成22年3月、合併で波田町は松本市となり、先に松本市となっていた旧安曇村の名



立たる山岳地帯が同じ市内となりました。しかし、暮らしながら見えない穂高岳や槍ヶ岳にくらべて、いつもこちら

を見ているような乗鞍岳に、断トツで親しみを感じるの私だけでしょうか？小中学校の校歌にも「乗鞍」が登場するので、きつと波田の人々に愛されていると、私は思っています。

国道158号線から見えるあの二つのとんがりの名前は「剣ヶ峰」。あまり知られていない左の峰は、剣ヶ峰の奥にあるから奥ノ院と異名を持つ「大日岳」。もし剣ヶ峰の左に、ゆるやかな峰を確認す



る事ができれば、「摩利支天岳」です。

剣ヶ峰と摩利支天岳の間には、蚕玉岳、朝日岳という峰があります。とんがり小さくて波田からは分かりづらいです。

アルプスの絶景、高山植物、雷鳥の親子、ご来光、鮮やかな紅葉、雪渓スキー等々、登山をしてもいなくても、様々な楽しみがあります。自然は、時には厳しい顔も見せま

しだれ桜の句

地域の方から森口公園近くにある「しだれ桜」を思う句を詠んでいただいたので、ご紹介しします。

しだれ桜の句

波田の地の

しだれ桜や

咲きにけり

夢にけり

しだれ桜や

一人旅

風おけり

桜の咲く

しだれ桜

すが、それでもそこに立つて大自然を体感する時や、逆に波田から眺める時、どちらも人々を見守ってくれているように思えるのです。

波田中学校1年生による、夏の行事である乗鞍岳登山が3年連続で出来ませんでした。3年前は雨天、あとの2年は新型コロナウイルスが原因でした。今年こそ、波田の子どもたちの声が、乗鞍岳に響きま



私は、転動で波田に引っ越してきました。住み始めて4年目になります。私の地元は千葉県で、長野県にきたのは中学の修学旅行以来です。正直ここに来るまでは、波田という地名さえ知りませんでした。初めての土地で不安もありましたが、今では波田に住めてよかったです。日々思っています。

波田の良い所は、自然が豊かで、町としても発展しており、住みやすいところです。

私には持病があり、千葉県にいた時は何度も体調を崩し、苦しい思いをしました。しかし波田では、体調を崩すことがほとんどなくなり、おそろく空気が綺麗なことなど、環境が良いことが要因になっているのだと思います。

他にも波田の代表的な農作物「スイカ」を千葉の親戚に送ると、とても喜ばれます。やはり味が全く違うようです。

今後も県外出身者としての視点で、波田の良い所をもっと見つけ、様々な場面で発信ができればと思っています。

